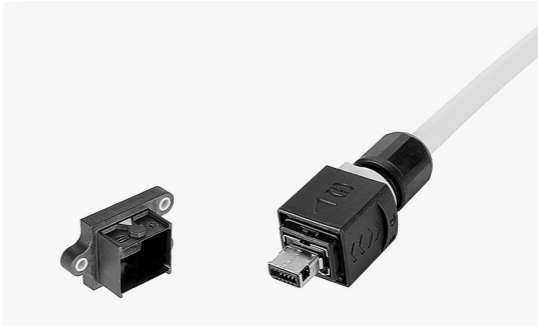


新製品・サービス

新IEC規格の産業用・FA向け堅牢・高信頼性接続

ハーディング

iX Industrial防塵防水ワンタッチ式コネクタ



HARTING Mini PushPull ix Industrial

ハーディングは、新IEC規格「ix Industrial」を2016年に...

産業用途に向けた設計がなされており、RJ45に比べて70%小型化...

防塵防水性確保、屋外や厳しい環境下での使用...

小型、省配線化

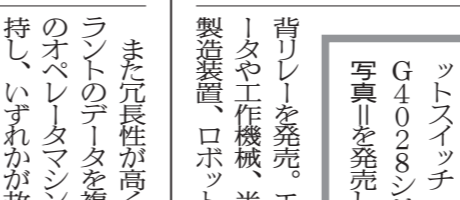


I-DECは、プリント基板に直接実装して使用する...

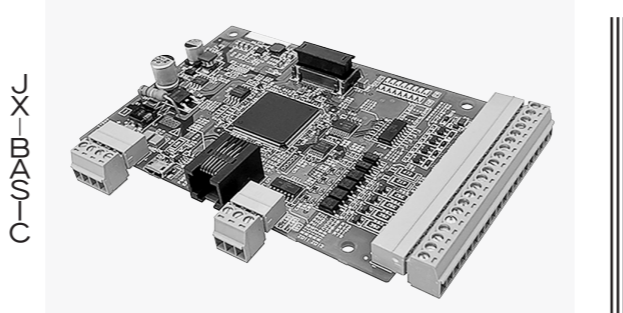
制御機器向け小型、省配線化のメリット...

背リレーを発売。エレベーターや工場機械の制御盤...

壁面取付け型



壁面取付け型。壁面に取付け使用、LAN通信で制御...



薄型・省スペースの基板型コントローラ

JX-BASIC。シエレクトエレクトロニクスが可能...

富士電機 プラント監視制御システム

富士電機は、プラント向け監視制御システム...



「MICREX-VIEW FOCUS Evolution」画面

壁面取付け型。壁面に取付け使用、LAN通信で制御...



令和の販売員心得

黒川 想介

担当を持っていくから、新規の人に来て売り込み...

戦闘力で新規客攻略は難しい 他人への接近は社交辞令から

壁面取付け型。壁面に取付け使用、LAN通信で制御...

ifm efector



コンパクト圧力センサ 高圧環境でも安定測定

ifm efector独自のシールド設計...

ifm efector

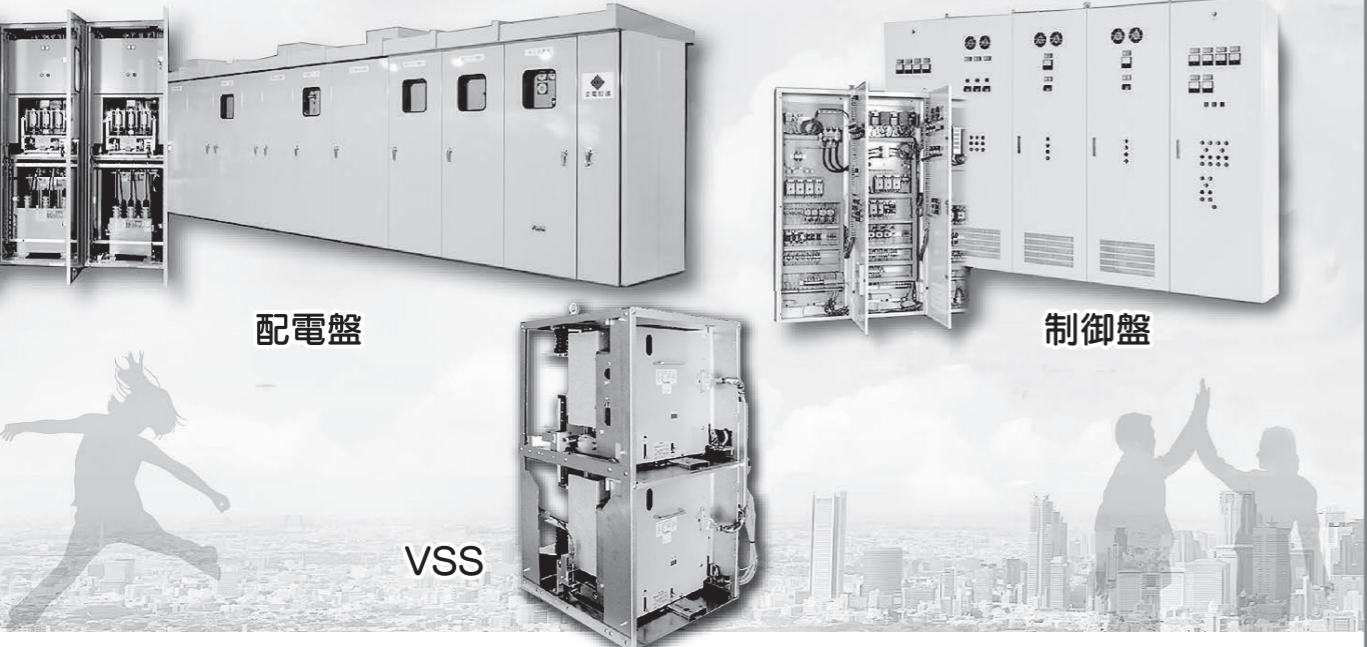


コンパクト圧力センサ 高圧環境でも安定測定

ifm efector独自のシールド設計...

配電盤・分電盤・制御盤・切替開閉器などの製造・販売からアフターサービスに至るまで

電路から信頼社会の実現に向け 躍動するAichiが責任をもってお客様をサポートします。



無停電に貢献する技術のAichi 株式会社 新愛知電機製作所

つながる工場、つなぐ CEC

マスターからスレーブまでワンストップでご提供

- EtherCAT products: miECM5050, miECM5050, ECAT-S-5XA

当社では、お客様の仕様に応じて、ユニット・ボードの設計・製作を承ります。

CEC 中央電子株式会社

FA業界掲示板

■サンワテクノス、センサとスイッチギアなど欧州メーカー3社の製品販売を開始
サンワテクノスは、フランスのアリバル・テクノロジーズのセンサ、ドイツのトボセンズの3D超音波センサ、ドイツのマーズのスイッチギアの日本国内での販売を開始する。

アリバル・テクノロジーズ「NeOse Advance」は、シリコンフォトニクスベースのバイオセンサー技術を搭載した、人の「嗅覚」を模したセンサ。特定の成分に限らず、人が嗅げる全成分の可視化・データ化し、においの比較マッピングや照合ができ、消費財や食品業界などの研究開発段階で、理想のにおいの作成や品質管理等に活用されている。内蔵のセンサーは組込用途でも提供でき、自動車や食品、生活分野、民生機器などにおい関連で幅広い活用が期待されている。



トボセンズ「ECHO ONE」は、物体検知・衝突回避のための3D超音波センサ。物体からの超音波の跳ね返りの角度や時間から物体を検知するアルゴリズムで、広視野(近距離で180度)で複雑な形状やUSBやケーブル等の小さな物体まで検知可能。視覚の影響を受けず、暗闇や光の反射などによる誤検知がなく、透明な物体も検知でき、既にAGVやAMRでも実績があり、今後は自動運転や人体検知等へも活用が期待されている。

マーズのスイッチギアは、DC断路器など幅広いアプリケーションに使用される長期信頼性を持つ高品質の産業用スイッチングデバイス。IEC60947、UL60947-4-1など国際規格に準拠した標準ラインアップに加え、カスタマイズ対応も可能。AGVやロボット、工作機械、ソーラーインバーターなどへの活用が期待されている。

■フエニックス・コンタクト、FQ1,27/2,54シリーズがindexProアワード2022受賞
フエニックス・コンタクトの基板対基板コネクタ「FQ1,27/2,54シリーズ」が、indexProアワード2022でコネクタ部門賞を受賞した。



同製品は、表面実装用の基板対基板ピンヘッダとソケットのシリーズ。ストレートとライト

アングルタイプにより、どのようなレイアウトにも対応でき、チューブ梱包により自動実装に対応している。はんだ位置が目視可能で、はんだ付け状態の自動検査にも対応している。

■フエニックス・コンタクト、スマートカメラボックス即納キャンペーン

フエニックス・コンタクトは、監視カメラでの遠隔監視に必要な機能をワンボックスに集約したスマートカメラボックスについて、2023年6月30日まで注文後即納で提供する「スマートカメラボックス即納キャンペーン」を実施している。

スマートカメラボックスは、遠隔監視アプリケーションで使用される監視カメラ等のPoE機器の通信接続に必要な機器を、屋外での使用に耐えるよう小型で耐衝撃性の高い、

防塵防水ハウジングに一体化し、設計や設置の工数を削減するオールインワン・ソリューション。機器類はあらかじめ内部接続されており、それらの盤内配線は不要となっている。

■安川電機、e-メカサイトに、6軸力覚制御機能MotoFitを使った人手作業の再現事例を公開
安川電機は、e-メカサイトに、人の繊細な力加減をロボットで再現できる6軸力覚制御機能MotoFitの活用事例を公開した。

MotoFitはマニピュレータに作用する力の変化を6軸力覚センサーで感知し、ロボット動作にフィードバックすることで、人の繊細な力加減を再現できる。事例では、過酷な環境での研磨や重量物のバリ取りなどに人によって、負担が大きい作業での活用事例を紹介している。

■ECADソリューションズ、ECADライブラリで東洋電機の始動リアクトルなど公開
ECADソリューションズは、クラウド部品データベースである「ECADライブラリ」について、部品の新規追加・更新を行い公開した。

新たに公開されたのは、東洋電機の始動リアクトルZシリーズ、IDECのトグルスイッチ600H-600NHシリーズ、小形トグルスイッチ5000シリーズ、プログラマブル表示器HG1G形、HG2G-V形、HG2G形、HG3G-V8形、HG3G-VA形、HG4G-V形、HG5G-V形、安全リレーモジュールHR5S形、HR6S形、端子台BPLシリーズ、BPSシリーズ。

三菱電機エンジニアリングのFL-netインタフェースユニットFL-net (OPCN-2) インタフェースユニット、シーケンサ用リニューアル機器 MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ、SYSMAC Cシリーズ→MELSECシリーズ置換え用。

■三菱電機、1月25日～東京ビッグサイト「スマート工場EXPO」出展
三菱電機は、1月25日から東京ビッグサイトで開催される「スマート工場EXPO」に出展する(ブース西2ホール58-50)。



「デジタルが現場を変える。ものづくりの未来が変わる。～Digital Manufacturing～」をテーマとし、多数の最先端FAソリューション・最新のFA機器・ソフトウェアを出展し、未来のものづくりを提案する。

また1月26日12時30分から西ホールでセミナーを実施する。「デジタルと循環するものづくり、三菱電機のDXとその実践」として

三菱電機名古屋製作所ソフトウェアシステム部長市岡裕嗣氏が講師となって講演する。

■国際電業、ACソレノイド「SA-55、56シリーズ」新規受注を再開

国際電業は、受注を停止していたACソレノイド「SA-55、SA-56シリーズ」について、コイル部品の見直し作業が完了し、新規受注の受付を再開した。対象製品はSA-55(AC100V/200V、その他の電圧)、SA-56(AC100V/200V、その他の電圧)。

セミナー・イベント情報

■安川電機、2月にACサーボドライブとマシンコントローラの無料オンラインセミナー

安川電機は、2月2、3日に「ACサーボドライブΣ-Xシリーズ」、2月21、22日に「マシンコントローラMP3000シリーズ」のそれぞれの活用方法について、デモ機を使って学べる無料オンラインセミナーを開催する。

「ACサーボドライブΣ-Xシリーズ」セミナーは、1日目はデモ機を使ったΣ-Xのサーボ調整機能、2日目はデモ機を使った負荷変動に対する安定性向上機能を紹介する。

「マシンコントローラMP3000シリーズ」セミナーは、1日目はデモ機を使ったMP3000によるデータ収集を、2日目はデモ機を使ったMP3000による同期制御の方法を紹介する。

■パライトとコニカミノルタ、AIセンシングを使った課題解決オンラインセミナー
パライトとコニカミノルタは共催で、1月19日13時30分からオンラインセミナー「業務効率向上と課題解決! AIセンシングの力」を開催する。

安全対策、巡回点検といった安全・保全業務に対する安定性向上機能を紹介。第1部で

は「事例で見るAIカメラ運用のツボ」として課題と解決事例を中心に展開し、第2部は「映像から課題解決! 事例とノウハウをお伝えするエッジAIカメラMOBOTIX」として数多くの現場における課題提案と導入経験を生かしたMOBOTIXによる画像IoTソリューションを事例と経験を交えて解説する。

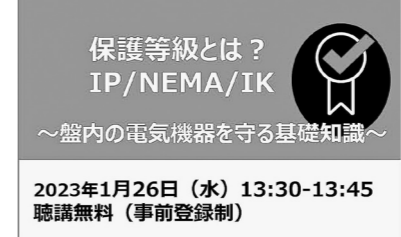
■ECADソリューションズ、2月9日にECAD活用事例オンラインセミナー

ECADソリューションズは、2月9日13時30分から、ECADの活用事例や未来を紹介するオンラインセミナーを開催する。

新企業理念の「お客様の感動につながる一歩先の製品とサービスを提供します」とのもと、ECADの将来構想や新製品となるECAD2023の機能、ECAD DCXを導入したユーザーのリアルな声を紹介するほか、特別セッションとして日東工業によるWebでカンタンにカスタマイズできるキャビネット「スマートオーダーキャビネット」の紹介も行う。

■リタール、1月26日オンラインセミナー「保護等級とは? 盤内の電気機器を守る基礎知識」

リタールは、1月26日13時30分からオンラインセミナー「保護等級とは? 盤内の電気機器を守る基礎知識」を開催する。



保護等級は、電気機器を外部ストレスから守る「保護の程度」を評価する基準であり、基準や規格がなければ、保護の程度、が抽象的になり、具体的にどのような条件で、どの程度守られるのか曖昧になる。それに対しセミナーでは、IP/NEMA/IK3

つ保護等級それぞれの意味合い、評価条件や試験方法の違いをわかりやすく解説する。

■立花エレクトックとルネサス、1月26日オンラインセミナー「面倒な産業ネットワークの接続は任せて下さい!」

立花エレクトックとルネサスエレクトロニクスは、1月26日13時からオンラインセミナー「面倒な産業ネットワークの接続は任せて下さい!」ルネサスR-IN32M3 Moduleでお悩みを解決します」を開催する。

ルネサス「R-IN32M3 Module」はPROFINET、EtherNet/IP、EtherCATプロトコルを搭載した組み込みの型産業イーサネットモジュールで、小型のハードウェアに産業用イーサネット対応に必要なPHY、RJ45コネクタなどのハードウェアおよび認証取得済みプロトコルスタックを内蔵しており、開発コストを最小限とし僅かな工数で産業イーサネット対応を実現できます。

セミナーでは同モジュールのメリット、用途、使用方法をわかりやすく紹介する。

価格改定

■オプテックス・エフエー、センサ・温度計関連製品の価格改定

オプテックス・エフエーは、センサ・温度計関連製品について、2023年2月1日注文分から標準価格を改定する。光電センサ、変位センサ、放射温度計、画像センサ他(一部例外あり)の製品を約10%~20%値上げする。

■内外電機、ボール用取り付け金具の価格改定

内外電機は、2月1日注文分から、ボール用取り付け金具の価格改定を行い、約30%上昇する。対象はボール用取り付け金具、ボール用取り付けアーム、コンクリート柱用取り付け金具、自在バンド、ステンレスバンドなどの一部。

生産終了

■オータックス、ロータリーDIPスイッチ「K,WシリーズロータリーDIP」の一部を生産中止

オータックスは、ロータリーDIPスイッチ「K,WシリーズロータリーDIP」について、PBT樹脂の着色材の廃番にともなって一部商品を生産中止し、着色変更した後継品を発売する。

対象は、KシリーズロータリーDIPのKM□102(H)、KM□102-3、KW□102(H)、KS□1□2(H)(S)、KE□1□2(H)(S)。WシリーズロータリーDIPのWCAWR121。最終受注日は5月30日、最終出荷日は11月30日。

後継品は、KM□104(H)、KM□104-3、KW□104(H)、KS□1□4(H)(S)、KE□1□4(H)(S)とWCAWR141。受注開始は1月10日、出荷開始は6月1日からとなる。

■オムロン、2023年12月末で光電センサE3T-CD11 5Mを生産終了

オムロンは、2023年12月末で光電センサ「E3T-CD11 5M」の生産を終了する。最終受注は2023年12月末、最終出荷は2023年12月末。

推奨代替品は、光電センサ、ファイバセンサ「E3T-CD11 2M」または「E3X-ZV11 2M」と「E32-D11 2M」の組み合わせとな

る。E3T-CD11 2Mはコード長が異なり、E3X-ZV11 2MとE32-D11 2Mの組み合わせは本体の色、外形寸法、取付寸法、定格/性能、操作方法が異なる。

■オムロン、2023年12月末で画像センサ3Z4S-LE VS-MCL/M42-10シリーズを生産中止

オムロンは、2023年12月末で画像センサ「3Z4S-LE VS-MCL/M42-10」シリーズの生産を中止する。最終受注は2023年12月末、最終出荷は2024年1月末、修理対応終了は2029年1月末。

推奨代替品は、画像センサ「3Z4S-LE VS-L/M42-10シリーズ」。ただし推奨代替品は耐振動衝撃レンズではなく、外形寸法と定格/性能で若干の差異がある。

■オムロン、2023年1月末でネットワーク機器ZS-CRTを生産中止

オムロンは、2023年1月末でネットワーク機器ZS-CRTを生産中止する。最終受注は2023年1月末、最終出荷は2023年3月末、修理対応終了は2028年3月末。推奨代替品はなし。

■オムロン、2023年4月末で変位センサ/測長センサZS-DSUシリーズとZS-MDCシリーズ、ZS-PSW11を生産中止

オムロンは、2023年4月末で変位センサ/測長センサZS-DSUシリーズとZS-MDCシリーズ、ZS-PSW11を生産中止する。最終受注は2023年4月末、最終出荷は2023年7月末、修理対応終了は2028年3月末。

推奨代替品はなし。

■オムロン、2023年4月末で流量センサD6F-03A3-000生産終了

オムロンは、2023年4月末で流量センサ「D6F-03A3-000」の生産を終了する。最終受注は2023年4月末、最終出荷は2023年7月末、修理対応終了は2028年3月末。推奨代替品はなし。

■オムロン、2023年4月末で変位センサ/測長センサZS-HLDCとZS-LDCシリーズ生産中止

オムロンは、2023年4月末で変位センサ/測長センサZS-HLDCシリーズとZS-LDCシリーズの生産を中止する。最終受注は2023年4月末、最終出荷は2023年7月末、修理対応終了は2028年3月末。

推奨代替品は、変位センサ/測長センサZS-HLDC-Nシリーズ。

■オムロン、2022年12月末で産業用ロボット「1720□-360□0」「1720□-380□0」生産終了

オムロンは、2022年12月末で産業用ロボット「1720□-360□0」「1720□-380□0」の生産を終了する。最終受注は2022年12月末、最終出荷は2023年4月末、修理対応終了は2027年12月末。

推奨代替品は、1720□-360□0が1721□-360□0、1720□-380□0が1721□-360□0。ただし付属のeMotionBlox-60R(コントローラ内蔵アンプP/N:19600-000)が変更(P/N:19600-200)となる。

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

ECU-1051(LTE/Wifi)
ECU-150(LTE/Wifi)
ECU-1252(LTE/Wifi/CAN)
エッジゲートウェイ



WISE-4220(WIFI 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX
(WIFI 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
https://www.advantech.com/ja-jp/

[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草 6-16-3

TEL: 03-6802-1021 FAX: 03-6802-1022

[大阪支店] TEL: 06-6267-1887 FAX: 06-6267-1886 [名古屋支店] TEL: 052-241-2490 FAX: 052-241-2491

工場新設・増設情報 1月第3週

【国内】

■東洋紡、福井県敦賀市の敦賀バイオ工場に65億円投資。製造設備を新設

東洋紡は、敦賀バイオ工場（福井県敦賀市東洋町10-24）に約65億円を投資し、遺伝子検査に用いられるPCR検査試薬および酵素や抗体などの遺伝子診断薬原料を製造する設備を新設する。



2023年3月に着工し、2024年11月稼働開始の予定。

今回新設するのは、研究用試薬棟と遺伝子製造/品質試験棟。高濃度DNAの取り扱いに適したクリーンルームや、研究試薬を効率的に分析・製造できる環境などを備えた施設を新たに建設し、一部老朽化した設備を刷新。

これによりPCR検査試薬と遺伝子診断薬用原料の生産能力を現在の約3倍に増強する。

研究用試薬棟は、延床面積8250平方メートルの鉄筋4階建て、遺伝子製造/品質試験棟は1760平方メートル鉄筋2階建て。

■フェローテックマテリアルテクノロジーズ、石川県能美郡にセラミックス加工の第3工場



フェローテックグループの国内事業会社であるフェローテックマテリアルテクノロジーズは、石川県能美郡川北町字三反田200-1に石川第3工場を建設する。

既設の石川工場と石川第2工場ではセラミックス素材および加工製品を製造しており、セラミックスの需要も高まりにともない、川北町東部地区工業団地内に石川第3工場を建設し、供給能力を向上させる。

敷地面積は3万平方メートル。延床面積は1万3000平方メートル。投資額は60億円。2023年6月に着工し、2024年夏の操業開始を予定している。

■バンドー化学、和歌山工場に太陽光発電設備を導入

バンドー化学は、和歌山工場（和歌山県紀の川市）の屋根にて工事を進めていた太陽光発電設備の設置が完了した。



和歌山工場では、2010年にも発電能力約150kWの太陽光発電設備を導入しており、今回導入した設備と合わせると同工場の電源構成における太陽光発電の比率は約12%に相当し、CO2削減量は183t-CO2/年（工場全体で約7%の削減）となる。

■ライオン、神奈川県小田原市に一般医薬品の新工場を建設

投資金額180億円。ライオンは、神奈川県小田原市に第一期を着工し、稼働開始は2025年1月を予定。2026年4月に第二期を着工予定で、稼働開始は2027年4月を予定している。

新工場は、延床面積11万0000平方メートル。2023年10月に第一期を着工し、稼働開始は2025年1月を予定。2026年4月に第二期を着工予定で、稼働開始は2027年4月を予定している。

の敷地内に新たに一般医薬品の工場を建設する。一般医薬品分野の安定的な生産供給体制の確立に向け、現医薬品工場に代わる新工場を建設して解熱鎮痛薬等の生産を移管する。敷地面積約4800平方メートル。投資額約180億円。着工2023年3月、稼働開始2025年中。

■北興化学工業、北海道滝川市の除草剤工場が稼働開始

北興化学工業は、北海道工場内（北海道滝川市北滝の川1470番地）内に建設中だった除草剤工場が稼働する新工場が稼働を開始した。

新工場は、「高効率化・省力化・環境対策」をコンセプトとし、原料の投入や製品の包装・積込などの自動化設備を配置するとともに、脱臭能力を強化した洗浄塔など環境にも配慮した設備を備えている。建築面積約2965平方メートル。鉄骨造4階建て、延床面積は約5164平方メートル。投資額は約32億円。12月から本格稼働している。

■ホーユー、愛知県瀬戸市にヘアカラー製造工場増設



ホーユーは、愛知県瀬戸市の桜ヶ丘工場の隣接地にヘアカラー製造工場（愛知県瀬戸市穴田町985）を増設する。

新工場は日揮がEPCとなり、新たに製造棟および自動倉庫棟を建設する。自動倉庫棟では、日揮が医薬品製造工場などで適用してきたスタッカークレーンを採用する予定。原料、中間品および製品の運搬・保管を自動化し多品目多品種の製品を効率的に保管・生産することを可能としたことに加え、将来の生産設備の拡張および完全自動化も見据えた設計を採用していく。完工は2024年5月を予定。

■日本コンセプト、新潟県新潟市の土地を購入

2017年から開始したフロンガスに関わる業務全般を日本側でも行うことを目的として新潟県新潟市北区瀬川地内の土地を購入した。新潟県に拠点を新設することにより北関東地域および東北・北陸地域に拠点を持つ顧客のニーズに応える。敷地面積1万6555平方メートル。

■関西ペイントグループ、兵庫県赤穂市に粉体塗料新工場を建設

関西ペイントグループは、粉体塗料事業の強化に向け連結子会社である久保孝ペイントによる100%出資の粉体塗料製造新会社「KANSAIパウダーコーティングス」を設立し、同社の粉体塗料工場を兵庫県赤穂市の同グループ敷地内に建設する。

粉体塗料は、有機溶剤や水などを用いないパウダー状の塗料で、塗装時に有機溶剤を使用しないため地球環境に優しく、塗装時に被塗物に付着しなかった塗料は回収・再利用でき、地球環境に優しい塗料とされている。また熟練工に頼ることなく塗装を自動化しやすく、省人化などの課題解決につながるものとしても注目されている。建築資材をはじめスチール家具や家電製品、自動車部品、建機、農機などに使われており、さらなる拡大が見込まれている。

新工場は、延床面積11万0000平方メートル。2023年10月に第一期を着工し、稼働開始は2025年1月を予定。2026年4月に第二期を着工予定で、稼働開始は2027年4月を予定している。

■新東海製紙、静岡県島田市の島田工場内にバイオマスボイラー建設

新東海製紙は、静岡県島田市向島町4379の島田工場構内にバイオマスボイラーを建設する。

低炭素社会の実現に向けた取り組みとして、現在、島田工場稼働する10号バイオマスボイラーを廃棄し、木質バイオマス燃料等を燃料とし、ボイラー発生蒸気量70t/h級のバイオマスボイラーを新たに建設する。稼働予定2027年1月。

■石原産業、兵庫県小野市に研究所設置に向けた土地取得

石原産業は、兵庫県小野市に研究所の建設用地の土地を取得した。

同社は長期ビジョン『Vision 2030』に定めた有機化学事業の重点施策「自社技術の練磨・進化による価値創造加速と成長路線復活」と「主力製品の世界一低コスト製造と顧客への安定供給」の具体化策として、「有機生産技術研究所（仮称）」の設置を検討しており、今回の土地取得はそのためのものとなる。取得土地面積4万3633.65平方メートル。取得金額13億9000万円。

■イトーキ、滋賀県近江八幡市の滋賀工場APセンターが稼働



イトーキは、滋賀県近江八幡市上田町72の滋賀工場APセンターを竣工し、2023年1月から本稼働する。

オフィス環境の変化に伴い、従来のスチール板金加工を軸とした大量生産型の生産・供給体制から、さまざまな素材や形状・技術要素のバリエーションから構成される商品を、コストを抑えながら柔軟に生産・供給できる体制へのシフトが急務となっている。それに対し同社は新たなモノづくりの形として、自社製品の保管・組立・出荷を一元的に行うアセンブル・プロセスセンター（APセンター）の設立と、分散している生産ラインの集約・再編による生産性向上を進めている。

同センターは地上2階建てで、建築面積は1万0012平方メートル。延床面積は1万7561平方メートル。

【海外】

■オカムラ、中国浙江省にオフィスチェア製造の新会社設立

工場も稼働開始

オカムラは、中国にオフィスチェアの製造を行う新会社を杭叉集団股份有限公司と設立し、2022年12月から工場（中国浙江省杭州市臨安区青山湖街道大園路2799号）の稼働を開始した。新工場の延床面積1750平方メートル。

■日本ゼオン、米国テキサス州での水素化ニトリルゴム生産能力増強

日本ゼオンは、子会社であるZeon Chemicals L.P.のテキサス工場（米国テキサス州）で、水素化ニトリルゴム（製品名Zetpol）の生産能力増強を決定した。Zetpolは、耐油性の高いニトリルゴムを水素化することにより耐熱性を高めた特殊ゴムで、高岡工場（富山県高岡市）とZeon Chemicalsテキサス工場の2拠点で製造している。テキサス工場では2020年に、高岡工場では2022年にそれぞれ生産能力増強を実施し、供給体制を強化してきた。

Zetpolは高耐熱、高強度が求められる産業領域で需要が拡大し、フッ素ゴムの代替用途など安定した需要



増が見込まれている。また、水素化ニトリルゴムを主成分とするリチウムイオン電池（LIB）用正極バインダーもEV向けに国内外の需要が高まっている。今回の生産能力増強によりグループ全体の水素化ニトリルゴムの年間生産能力は約25%増加する見込み。

本年11月に着工、2025年1月の生産開始を目指す。

■住友ベークライト、中国にフェノール樹脂成形材料の生産能力を増強



住友ベークライトは、中国子会社である南通住友電木有限公司で、同社敷地内に安全安心・省エネ・環境負荷の少ない工場を新規に建設し、フェノール樹脂成形材料の生産能力を増強する。

新工場は現在の南通工場敷地内に建設し、生産能力を約2倍（約2万5000t/年）に拡大したものとなる。中国で厳しくなりつつある安全・環境規制に対応させるため、工程自動化、AI、IoTによる工程監視に加え、エネルギー利用の高効率化と最新の環境保護装置の採用による安心・安全で環境に負荷が少なく、省エネルギーの工場を目指す。

敷地面積は約1万6000平方メートル。操業開始予定は2024年度初頭。投資金額は約35億円。

■日世、中国山東省でフルーツプレパレーション製造工場を新たに展開



ソフトクリームの総合メーカー・日世は、中国でフルーツプレパレーション事業を展開する関連会社として日世（濰坊）食品有限公司を設立し、フルーツプレパレーションを製造する新工場となる濰坊工場を竣工した。

フルーツプレパレーションは、果実の風味や果肉を均質化した調整品のこと。粘性のある液体に果肉が均一に混合されている状態のもので、ヨーグルト資材やアイスクリーム等のトッピングソースとして供給されている。

新工場は今後の中国、東南アジアに向けての事業展開に備えるもので、稼働は2023年1月、年間生産量は約36000t。敷地面積は6万6000平方メートル。延床面積は2万2551平方メートル。将来的には3万7180平方メートルまで増床する見通し。

■アルファ、タイ・アユタヤ県にセキュリティ機器製造の第5工場を増設



アルファは、セキュリティ機器事業の海外子会社であるタイ・アユタヤ県のALPHA HOUSING HARDWARE (THAILAND) CO., LTD.でのスマートロック（電気錠）等の生産増加に対応するため、工場を増設した。

第5工場では主に日本国内向けの住宅用電気錠を製造。またその前に増設した第4工場の塗装エリアでは、ロボットを使った搬送と塗装工程を構築して完全無人化を実現した。また環境に配慮してVOC排出抑制に対応した循環型設備になっている。敷地面積4320平方メートル。

3Dプリンターを1人1台の時代に A.switch Membership Model Aswitch 株式会社

JAPAN UNIX 世界の製造業が採用 IPC 品質標準規格 はんだ付工程を見える化する 卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

